



ゴクローサン

5963 ハート通信



VOL. 110 竹原運輸株式会社

発行日 令和4年11月15日

事務所スタッフからの一言

皆様、日頃は格別のご愛顧を賜りまして誠にありがとうございます。
心より感謝を申し上げます。

安心、安全の仲間創り

これが竹原運輸の目的です。
その手段として、お客様のお役に立ち、必要とされる存在になるために、
人として、職業人として精進をしていく。

そのことがすべてのステークホルダーとのいい関係性を創ることになり、
安心、安全の仲間創りにつながると思います。

お客様、従業員、家族、協力会社、地域など、会社を取り巻くすべての人との
安心、安全の仲間を創ることにより、竹原運輸での仕事が、
幸福な人生を歩むための道でありたいと強く願っています。

竹原 和行



最近、知った言葉

「一怒一老 一笑一小」(いちどいちろう いっしょういっしょう)

中国の格言で、一度怒ると一つ歳を取り、一度笑うと一つ若返るという意味です。怒りの感情は身体を固くし、身体にとって良くない状態を引き起こします。笑うことは身体をリラックスさせ、身体を良い状態にします。

大抵、人間は思い通りにならないことばかりですが、
思い通りにならないことが当たり前と思って、
一々腹を立てずにこやかに過ごしたいと思います。



「他人の靴をはく」

相手の立場になって物事を考える意味です。

表現の仕方が素晴らしいと感じました。他人の靴をはく為には先ず自分の靴を脱がなければなりません。他人の靴をはいてみると、サイズが合いませんし、しっくりこないと思います。

中々相手の立場になって物事を考えることは難しいものです。

しかし、常に相手と同じ目線で、相手になりきって物事を考えることを、常日頃から習慣にしてしまうといいのかなと思っています。

社長 竹原正和



突然ですが皆さんは、おじいちゃん、おばあちゃんと言えどどんなイメージがありますか？
穏やか、厳格、頑固と、いろいろなイメージがあると思います。今回は、そんなおじいちゃん、
おばあちゃんの可愛い笑顔や、物静かな一言にとても癒されるワンシーンに出会えたこと
を書かせて頂きます。

先日、旅先のショッピングモールでの話です。

買い物の合間に少し疲れた私は、ロビーの椅子に腰かけて、忙しく買い物に歩く人たち
をボーッと見ていました。すると、私の目の前に一人のおじいちゃんが買い物袋を持ったま
ま立ち止まり、振り返って誰かを待っているようでした。おじいちゃんは、ワイシャツに、くる
ぶしまでの短いズボン、ベルトを上の方でぎゅっと締めた小さな小さなおじいちゃんです。
そのおじいちゃんが待っていたのは、小さな小さなおばあちゃんでした。

おばあちゃんは白いブラウスに、引きずるのではないかとと思うほどの長いスカートにシュ
ーズを履いている、とっても可愛いおばあちゃんです。おばあちゃんは足が悪いのか、ちょ
こちょこしか歩けませんでした。でも、おじいちゃんは遅いおばあちゃんを責めることなく、
手を差し出して優しい声で『おいで』と言いました。おばあちゃんは、そんなおじいちゃんの
差し出した手にたどり着き、二人は手を繋いだまま、おばあちゃんの歩幅に合わせて出口
に向かいました。私は出口から二人が見えなくなるまでずっと見送っていました。

とても心優しいおじいちゃんとおばあちゃん。ほんのワンシーンでしたが、とても心が癒
されました。きっと二人は穏やかで、長い間お互いを思いやりながら暮らしているだろうな
と思うと、私は心の中で、いつまでもお元気でいて下さいと祈っていました。

今回が今年最後の通信となりました。一年間ありがとうございました。

大橋 哲夫



今日は令和4年11月15日です。

このハート通信の原稿提出締切日。本年度最終回となります。ついこの前まで暑い日が続いていたと思えばとたんに寒くなり着る物に困る日々が続いております。23年前の11月15日もこんなだったかな。。と思うのです。

後にも先にも私の親友と申しますか、何でも話せる中学からの同級生が病で亡くなったのが23年前の今日でした。アイツは30歳で逝ってしまいました。高校生の時は一緒にバイクに乗ったり髪型を真似したりして。。。卒業してから2年ほど連絡も取らずにいた頃、私は竹原運輸で4+車に乗って長距離乗務員で活躍?していましたところ、アイツも他の会社の4+車で長距離乗務員をしていたのです。

偶然、積み込み客先で一緒になりお互いに驚いて高校時代にタイムスリップ。それから10年間、私とアイツは高校生のまま仕事を通して遊んでいました。もちろん高校時代とはレベルアップした大人な遊びで週末はほとんど一緒にいました。自家用車も同じ車を購入して同じホイールを履き、同じ高さにシャコタン(今はローダウっていいます)にして朝まで車の前で話明かした日もありました(笑)

お互い仕事面でも4+車から大型車にレベルアップして全国各地を走り回っておりました。この頃はトランシーバーみたいな大きさの携帯電話を持つようになり、いつでも近況報告ができるようになっていました。今でも私の小さなスマートフォンにはアイツの電話番号が入ったまま。もう鳴ることのない番号を何故か大事に保存しています(笑)

アイツが高校時代から吸っていたセブンスターは「オレがずっと吸い続けてやるからな」と自分勝手に約束して時代の移り変わりとともに10年前に禁煙し、今ではセブンスターがあるのかも、値上がりした金額も知らない状況です。

アイツは30歳のまま、私は53歳になりました。健康面でも自己管理する年頃になったこと判ってくれてることでしょう。

1年前の11月15日付けで竹原運輸の役員に任命されたこともアイツの墓前に報告しました。高校時代に一緒にバイクで走った海岸沿いの道路わきに墓地があり、海が近くで見れていい場所です。

今日、11月15日は私にとってそんな日です。



来年も竹原運輸とハート通信を宜しく願い申し上げます。

池上則和

早いもので 2022 年も残り2か月になりました。

木々もすっかり色付き朝晩は暖房をいれるようになりました。

先日ある異業種交流会で「幹部経営研究会」として全国で活躍されている放送作家さんの講演会に参加させていただきました。テーマは「テレビの世界で学んだ鉄壁の信頼関係を築くためのコミュニケーション術」というもので、さすが数々のヒット番組を手掛けてきた方だけあって大変興味深いおもしろい内容でした。

コミュニケーション能力は7つあるそうです。1. 話す 2. 聞く 3. 返す 4. 間違いを指摘する (ツッコミ) 5. 場を仕切る 6. 笑わせる 7. 社交性 そしてその中でも一番大事なものは2の聞く能力だそうです。人はどうしても自分本位に聞いてしまうもので、聞く前から結論ありきだったり、知りたい情報しか聞かなかったり、内容ではなく話す人で決めていたりといった具合だそうです。老害とは人の話を聞かないことだと、なるほどどれも耳の痛い内容でした。聞き方には姿勢とテクニックがあり誰でもできると明るく締めさせていただきました。どんな時も頭はニュートラルにひとまず聞き、共感と驚きをもって合槌すること、

自分の意見はそれからにするということです。

早速実践していきたいと思います。



景山恒司

いつも大変お世話になりありがとうございます。

急に気温が下がり、朝晩の冷え込みが冬を感じさせるようになりましたが、皆様如何お過ごしでしょうか。

10月の今冬長期予報では、「気温は平年並み若しくは低い。

降雪量は平年並み若しくは多いでしょう。」となっていました。

ハート通信が皆様のお手元に届くころにはまだ答え合わせが出来ないかも知れませんが、長期予報の結果を検証できるように話題にしてみました。

昨シーズンにもありましたが、激しい降雪の予報が出た場合に計画的に道路を封鎖する措置をとる場合があり、運行指示事態に難しい判断を強いられると考えられます。

タンクローリーの仕事柄、気温が低く、雪が少ないというのが理想ですが、

どんな状況でも安全第一で無事に帰る、

無事であれば翌日以降も運行できる。

と信念をもって冬の備えとしたいと思います。



辻川 伸吾

おだやかな小春日和が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか

未だにコロナ感染者数が増えたり減ったりとしていて、まだまだ終息する気がしません。

いつどこで感染してもおかしくない状況の中、日々の行動に気を付けていたのですが、業務が終わり帰宅しようと車に乗り込んだ時に、身体に違和感が、側腹部と背中に後から腹部に激痛が、コロナに感染したのかとも思いましたが、とても運転して帰れる状況ではなかったので鎮痛剤を飲んで 1 時間ほど車内で待機、少し落ち着いたところで帰ろうと運転したのはいいけれど、運転中も倦怠感や吐き気などで最悪でした、帰宅後痛みが治まったのですがトイレ後尿に血が混ざっている事に驚き、直ぐに救急外来で受診した結果尿管結石でした、1mmほどの石が尿管を傷つけているので出血していることと細い管に石が詰まるから激痛になるとのことでした、先生からはこの後2.3 回痛みがあり石は自然に出てくると言われて鎮痛薬を処方され帰宅しました、帰宅してから 1 時間後再度激痛が最初の痛みより2回目の痛みの方が超激痛で 3 時間半の激痛との格闘後石が出てきました。さっきまでの痛みは何だったのかと思うぐらい痛みがなくなり深夜 1:00 にはやっと寝る事が出来ました、またこの時期は水分摂取が少なくなるので意識して

毎日2ℓは飲むようにと注意されました。

もう二度とこんな激痛は懲り懲りです。

越 邦治



皆さん、こんにちは。

毎年この時期になると同じ事を書いています…

タイヤ交換の時期になりました。

近年、タイヤ交換後のタイヤ脱落事故というのが非常に増加傾向にあります。

車両の老朽化や人的ミス、大雪による金属疲労、新規格のナットの締め付け方式など、様々な要因が重なって増加しているものとみられます。

当社でも車歴の長い車両も増えてきており、注意が必要です。

タイヤ交換の時期は非常にバタバタして、人的ミスも起こりやすくなりますが、1つ1つの作業を丁寧に、またミスのないよう二重にも三重にも確認をして作業してまいりたいと思います。

谷口 学



いよいよ季節は「冬、間近!」な、感じですよ。

夏生まれのせいか、暑いのは大好きですが、寒いのは大変、大変!大変!!苦手で。

10月中旬より制服の下にはダウンベストを着用している今日この頃です。

今月末からはタイツですかねえ。

今年1年を振り返るのは少し早いですが「あっ」という間の令和4年でした。

年々1年の経過が早く感じるのは歳のせいなのか、日々、色々な事が在りすぎるのか?

…。不明ですが…。

話は変わりますが、毎日の朝礼前の会社での『ラジオ体操』が唯一の私の運動になっています。ラジオ体操は『ド真剣』に実施すれば何よりの最高で、完璧な運動であると、知人から教わりました。理由も色々教わりました。

確かに、なんとなくダラダラとラジオ体操をしてしまう人が多いのかと思いましたが、一度ド真剣にラジオ体操やってみて下さい。めちゃめちゃ体が温かくなって関節が伸びて気持ち良く又、痛い場所も良く分かります。

ジョギングなどもってのほか、ウォーキングとかジムとかスポーツとか、

多分続かない性分の私の毎日の“リハビリ”として

『ラジオ体操』をド真剣にやっといこうと思う今日この頃です。

相変わらずの『コロナ』。そしてこれからの『インフルエンザ』。

恐怖ですが、打ち勝つ体力と、気力をもって、この季節に挑んでいこうと

気合十分の今日この頃です。

白崎 直樹



いつもお世話になっております。早いもので今年も残すところ1カ月程になりました。

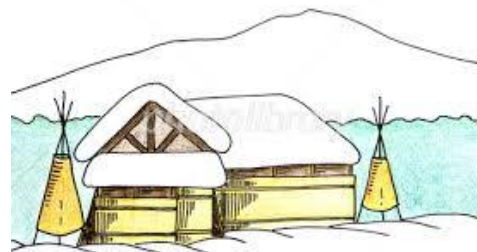
今年は、コロナとインフルエンザが同時流行するそうですが、コロナワクチン接種は4回目終わっておりますが、インフルエンザの予防接種はいつもしないので、今年もしない予定です。どちらにもかからないように気を付けて過ごしたいと思います。

毎年この時期は、田舎の雪囲いの事を書いています。今年も11月中にする予定になっております。普段から運動をしてないせいか、以前持てたものが今年は無理という事があります。しっかりと準備運動してから作業をしたいと思っております。毎年手伝いをするたびに体力の衰えを感じていますが、今年はどうでしょうか。

皆様、今年一年本当にありがとうございました。

来年も宜しくお願い致します。

吉川 佳代



いつも、ありがとうございます。

早いもので、今年最後の「ハート通信」になりました。

今回は体調を崩しやすい時期なので、「ビタミン・ミネラル」についてです。

ビタミン・ミネラルは全身の調子を整える働きがあり、心拍、体温、血流、神経、免疫力、自然治癒力など、体が正常に働くために不可欠な栄養素です。

車でいうとエンジンオイルやブレーキオイルなどの潤滑油・作動油の役割で、足りてなくてもとりあえず走れる。

体だと、ビタミン・ミネラル不足は整備をしてない車と同じ。

健康のために、もっと野菜・果物・魚など

積極的に食べたいけど、後回しになりがちですよね。

短期間なら大丈夫だけど、それが続くといつか体は故障し体調不良か病気になるかもしれません。

野菜・果物・魚で体の中を整備し、

風邪に負けない体づくりをしましょう!!

笠島 弘江



「今どきの若者は…」 「最近の若者は…」とニュースで聞くと
ちょうど自分の世代を指す言葉だと思われませんが、
あまり良いイメージで使われることはありません。



しかし、自分の親、祖父母の世代も若いころは実は同じように
言われてきたのではないかと思い、調べてみました。
すると、はるか大昔から現代と変わらないニュアンスで
使用されてきた言葉だとわかりました。

例えば、紀元前 4 世紀、哲学者プラトンは「最近の若者」を
「年長者を敬わず、両親に反抗する。法律は守らないし、ギャングのように暴れる。
道徳心は腐れきっている。」と嘆いている文章を書いており、
また、10 世紀の日本。平安中期の清少納言は
「最近の若者は、あまりに言葉が乱れておりみっともない」と言ったそうです。
今までもこれからもずっとこの言葉は受け継がれていくと思われます。

いずれか「今どきの若者は…」が
いい意味で使われることを願います(笑)

中野 夏海

いつもお世話になっております。

いよいよ師走が近づき、あわただしい季節となりました。

先日、我が家の給湯器が故障しました。

二日ほどでしたが、お湯が出ないだけで大変不便に感じました。

日頃当たり前のように使用していたものが急に使えなくなると、
その時になって初めてその有り難さや大切さに気がつきます。

ものだけでなく、怪我をしたり、体調を崩したりした時にも
健康が一番だと実感するのですが、

また完治するとその大切さを忘れてしまいます。

日頃からあらゆる面で感謝する心を持ち続けたいなど
改めて感じました。

Thank you



森陰 瑛津子